

松本大学と地域をつなぐ情報誌

ゆめ通信

Vol.13
2009.10.7 (Wed)

お祭り特集

学生が地域のお祭りに
参加して見えてきたもの

学生の新プロジェクト

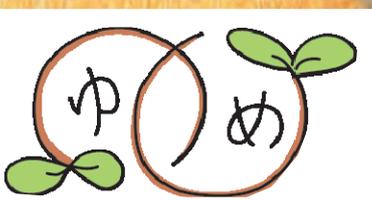
こども広場が始動!!

開催レポート

松本駅西口の可能性を考える

にじますカップ運営に今年も参加

もうすぐ梓乃森祭



学校法人松商学園

松本大学

ゆめ

ゆめ

ゆめ

“ゆめ”の由来・・・結芽『ニーズの芽を結ぶ場所』+ 夢+遊眼『遊び心の視点を持つ眼』

地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。



なわて通りかえる祭り



松本市のなわて通りで行われる夏祭り。かえるをメインに、様々な趣向を凝らしたイベントが2日間にわたって行われる。注目は、日本各地のかえるクラブ作家が自慢の作品を販売する「かえる市場」。

松本神社神輿岡渡



波田さいさい祭

フリーマーケットや国際交流コーナーなどの特徴あるイベントをはじめ、特産物のスイカを使ったランタン作りなども行われている。4,000発花火も圧巻。名前の由来は西瓜(すいか)の名産地ということで、漢字の読みをかけ「さいさい祭」と命名された。



お祭り 特集

学生が地域のお祭りに
参加して見えてきたもの

松本ほんほん



松本市の中心街で行われる、県下最大級の夏祭り。地域名を織り交ぜた歌に合わせて踊り、駅と松本城の間を賑やかに練り歩く、夏の風物詩。

今年の夏もいろいろな地域で夏祭りが開催され、大いに賑わいました。松本大学の学生も、地域の方と一緒に夏祭りを盛り上げ、多くのことを学んできました。「祭り」の大切さ、地域が抱えている課題、継承問題…。

『ゆめ』編集委員が、祭りに参加した学生へのインタビューを敢行！特集記事にまとめました。私たち学生の視点で学んだこと、考えたことを、お祭りの紹介とともに、見ていきましょう。

松本七夕まつり

神社の神を祭る大祭として、神輿を担いで市内を練り歩く。1日目の昼間は子ども神輿、2日目は大人神輿がある。大人神輿では、松本大学、信州大学の学生や自衛隊の方々が担ぎ手に加わり、盛大なお祭りとなる。



松本地域の家々では、旧暦の七夕になると軒先に七夕人形を飾ったり、あんこをからめた平べったいどん「ほうとう」を食べるなど、特徴のある七夕祭りをを行う。もちろん笹に短冊も飾り付ける。

ここが楽しかった！ 夏のお祭り体験レポート

今年もたくさんの学生が地域の夏祭りに参加しました。多くの夏祭りは、目的は違っても地域が盛り上がるという点では皆同じです。そこで、参加した学生に夏祭りの楽しかったことや面白かったことを取材してみました。

知らない人との交流

さいさい祭をはじめ、多くの活動で交流の輪が広がったという意見が顕著に出了ました。さいさい祭では、国際交流コーナーという、他ではお目にかかれないイベントがあり、今までに関わったことのない外国人の方々と多く触れ合えたことが新鮮だったようです。また、かえる祭りでは、日本各地から「かえるマニア」が大集結したこともあり、2,000人以上もの来客があったようです。単に地域活性化という位置づけではなく、こうした交流の場としての役割があるのだと改めて驚かされました。阿禮神社例大祭でも、松本ぼんぼんでも、知らない人と関わり、そして楽しむことで「一体感」を感じたという意見もありました。

大学生として…

もちろん、ただ参加するのではなく、大学生として祭りの企画をすることもあったようです。かえる祭りでは、信大生と協力して内容を企画し、当日は来場した子どもたちに「昔のあそび」を教えたりしたとのこと。また松本神社の神輿御渡では、事前学習として座学ではなく地域を実際に歩き、目や耳で学ぶ「フィールドワーク」を実施。楽しく歴史を学べたという意見もありました。松本ぼんぼんでは、神奈川の短大生を招き、一緒に踊りの練習に励んだようです。なかなか練習できずに本番を迎えたようですが、楽しく踊れたという意見がありました。このように他県の人たちに松本の歴史や風土を理解してもらうという取り組みもされています。「大学生」として祭りに参加することは、大学の授業だけでは得られない多くの体験ができる良い機会になるのではないかと思います。

地域を一体に…

七夕祭りでは、上土地域のお年寄りや子どもたちと一緒に七夕飾りを作り、楽しいひとときとなったようです。また

阿禮神社例大祭



別名「塩尻祭」。特徴は、5メートル以上の高さの舞台と呼ばれる山車を、子どもや大人が一緒になって引くところ。露天も100程度が出店。古くから伝わる祭り。

徒士町にある高橋家住宅という江戸時代から残されている下級武士の住宅の開放イベントがあり、老若男女楽しめるお祭りになったとのこと。阿禮神社例大祭や松本神社神輿御渡では、地域の方とお酒や歌を通じて交流し、関わることができ、この地域にずっと住みたくなったという意見もありました。地域住民や私たち大学生の心に響く日本のお祭り、ずっと大切にしていきたいと今回のインタビューを通じて、改めて感じさせてくれました。

(文責 市村)

楽しいだけじゃない!? 地域のお祭りの課題点

お祭りとなると誰もが楽しいことを想像することだと思います。前ページの紹介記事を読んで、来年は参加してみたいと思ったお祭りもあるのではないのでしょうか？ですが、これまで紹介してきた6つのお祭りは、楽しいことばかりという訳ではありません。

例えば、かえる祭り・さいさい祭は楽しむ参加者の陰で、スタッフの皆さんの苦勞がありました。予定通りに事が進まない、連絡が行き届かない、役割分担がきちんとできなかったなどの反省点もあったようです。この場合は『スタッフさん頑張れ』としか言えないのですが、かえる祭りではマス

コミからの取材を受け、知名度も上がり大成功を収めたとのことでした。しかし、さいさい祭は、もっと大きな問題を抱えています。それは松本市との合併で今後お祭りの存続自体が危ぶまれているということ。どうしようもないことではありますが、何か私たちにできることはないかと考えさせられます。

問題があるのは、もちろん上記のお祭りだけではありません。多くのお祭りは現在、後継者がいないという問題で頭を抱えています。それが一番顕著だったのは、松本神社例大祭の神輿御渡でした。少子高齢化も原因のひとつですが、地元の若い人が進学などでほとんどおらず、現在は松本大学や信州大学の学生、自衛隊の方々が御神輿を担いでいる状態にあります。例年、開催日が決まっていて、平日になる場合が多いようなので、仕方がない面もあると言えます。塩尻市の阿禮（阿礼）神社例大祭も伝統が長く、素晴らしい文化を持ったお祭りです。しかし、こちらもなかなか継承者が集まらないようです。少子高齢化の影響の中、継承者問題はとても難しい課題だと思います。

みなさんもご存知の松本ぼんぼんでは存続・継承の問題はないものの、良くも悪くも地元のお祭りで、他の地域の人が入りにくいという意見も聞きます。地元の人でも他の地域の人でも入りやすい、溶け込みやすいお祭りにしたほうが、松本市がどんな所なのかを知ってもらう良い機会になるのではないのでしょうか。

徒士町の七夕祭りは今年が高橋家住宅の開放に併せて行われていましたが、多くの観光客を呼ぶには宣伝が足りず、知っている人は少なかったようです。もっと宣伝すれば他の地域の人でも呼べて、松本市の文化の紹介にも繋がったのではないかとインタビューを通して感じました。



松本神社のおみこし



かえる祭りのようす

皆さんの地元のお祭りはどうでしょうか。面倒くさいからなどの理由で、お祭りをないがしろにしている方も多いと思います。地域が一体となって、お祭りの活性化を目指してみませんか。

そういう観点から、地域のお祭りに若者が参加するということはとても有意義であると思います。私たち学生が参加することによってお祭りに活力が生まれました。また、お祭りの伝統が守られ、継承され、そしてより良い方向へと変わり、地域の活性化にも繋がると考えています。これを読んでいる学生には、まずは地域のお祭りに参加して欲しいと思います。

(文責 岩垂)

□インタビューを終えて

これらのお祭りに関わった学生の話聞いて感じたことは、若者が積極的に参加しているお祭りは、どれも盛り上がっているなということです。やはり、若者のやる気や元気、楽しもうという気持ちが、地域のお祭りの活性化につながって、より盛り上がっていくのではないのでしょうか。また、地域のお祭りですが、地域の人間だけで盛り上がり、若者に限らず外の人も呼び込むことも大切だと思います。それによって、良い刺激を受けて盛り上がり、次回へのやる気も高まったり、新しいアイデア等によってお祭り内容のマンネリ化を防いだりすることが出来るのではないのでしょうか。

これからは様々な人がお祭りに参加できるような工夫が必要だと思います。もちろん、今までも沢山工夫はされてきたと思います。しかし、企画段階から若者や外の人に関わり、様々な意見を出してもらって、そこから改善点などを見出し、工夫していけば良いのではないかと思います。なぜなら、若者や外の人がお祭りにどんな目的で参加するのか、何を求めているのかが分かることで、魅力あるお祭りにしていくことが出来るだろうし、今まで地域の人も気付かなかった魅力（地域のお宝）の再発見も出来るのではないかと思います。地域やお祭りの魅力に合った工夫を沢山取り入れながら、これからもそれぞれのお祭りが続いていってほしいと思います。

（文責 大石）



↑阿禮神社例大祭（塩尻市）

これからについて

□上土商店街の七夕

上土商店街の女性部では、七夕の伝統行事を何とか継承したい気持ちで、自分たちで作った和紙の七夕人形を商店街に飾っていましたが、今年は更に手作りの七夕飾りも飾ることにしました。街づくりは無理をしては続きません。出来る人が出来る範囲で、出来る時に出来る事をする。そしてお金をかけない。笹はメンバーの自宅の庭からいただき、短冊はお客様に願いを書いていただくことにしました。そして七夕飾りは松本大学経由で松本大学の学生さんと商店街のおばあちゃん達にお願いしました。快く協力をいただき、2時間ほどの作業でしたが、おばあちゃん達は若い学生さん達とも話ができて、とても楽しかったようです。縁あってこの地域で勉強することになった若者のパワーと感性を得ることで人も地域も元気になれるような気がします。

上土商店街 増田 志津子



←上土の七夕祭りの準備の様子

□松本神社

松本神社では、祭礼のとき「神輿をかつぐ」ということがあります。ところが地域の高齢化で担ぎ手が少なくなり、「山車や舞台のように台車に乗せて神輿を引き回したらどうか」という意見もありますが、そういったことはありません。それは神輿の「担ぎ手」があるからこそ渡御が出来るわけで、松本神社の神輿は本来の「かつぐ」伝統を守り継承しています。

言うまでもなく、今は松本大学の学生さんをはじめ地域の若者の協力、参加を得て「神輿かつぎ」は支えられています。

お祭りが盛大に行われるということは、その地域の活力の象徴であり、またその活力の源でもある皆さんへの期待も大きいものがあります。地域活動と関連の深い松本大学の皆さんの将来像として、その地域に根ざし、卒業後も継続的に参加して下さるよう、当神社では五年毎の表彰規定が用意されています。

松本神社総代会副会長 丸山 泰昭

もうすぐ梓乃森祭

是非お立ち寄りください。

＝「ゆめひろば」開催＝

日時：10月10日(土)・11日(日)

会場：松本大学 5号館ロビー

展示コーナー

考房「ゆめ」のプロジェクトをボードで活動紹介。「古い電車で新しい語らいの会」による電車の模型が走るNゲージも見られます。

販売コーナー

- ★考房「ゆめ」のプロジェクトで開発した米粉のスイーツ「こっふる」
- ★ベーカリー麦の穂さんのおいしいパン
(10日(土)のみ)
- ★第2コムハウスさんの手作り小物やパンなど
(11日(日)のみ)
- ★JA新村支部・女性部の皆さんによる地元の野菜など(松本一本ねぎもあります)

和太鼓演奏

10日(土)、午後1時半からメインステージにて、松風連の演奏があります。「子ども体験教室」では、和太鼓を体感、体験してみてください。

体験コーナー

普段ではできないいろいろな体験をしてみてください。

- ★「聞こえないってどんなこと？」
耳が聞こえないってどんなこと？
「手話」や「要約筆記」の体験もしてみてください。

- ★「クイリング&アロマテラピー」
細い紙テープのようなものから、かわいいお花等を作るクイリングと、アロマテラピーの体験ができます。かわいい小物の販売もします。



湯茶コーナーもあります。新村のおばちゃん達と地域交流サークルが接待してくれます。ゆっくり休んでいってね。

子ども広場のお知らせ

第3回子ども広場を開催します。「親子で楽しくおやつづくり」でさつまいもの茶巾絞りを作ります。お茶会でゆっくり子育て情報交換ができます。おさがり無料交換会(9:45～)もあります。

日時 10月31日(土) 10時～11時30分

場所 松本大学地域づくり考房「ゆめ」WORK-STATION
(松本駅西口)

参加費 200円 ※10/23までにお申し込み下さい。
先着12組までとさせていただきます。

学習支援ボランティア募集

パソコンの技術を活かして、学習支援ボランティアをしませんか？

内容：松本市内の小学校に通う聞こえない、聞こえにくい状態にある小学生のサポートです。「パソコン文字通訳」という、話された言葉をパソコンで打って文字として見せる活動です。

関心のある方は、考房「ゆめ」にご相談ください。

★*・☆*・° つぶ や き ☆*・° ★*・*

今回は、「お祭り特集」ということで、私も7月25日に参加した波田さいさい祭も取り上げてもらいました。私は波田さいさい祭で、国際交流コーナーのイベントの企画・運営を行い、様々な方に助けをもらいながら本番を迎えました。

当日はあいにくの雨で、企画通りにイベントを進行できませんでした。喜んでくれた方がいてとてもうれしかったです。また、今まで関わる事の無かった人達と交流することが出来たので、今後も、もっといろいろな人達と交流できるようにしていきたいと思っています。最高の夏の思い出になりました。

(松商短期大学部2年 大石 春菜)

お問い合わせ、ご意見、ご質問、ご感想等
ありましたら下記へご連絡下さい。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel: 0263-48-7213(直通)

Fax: 0263-48-7216(直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

URL: http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/yume/